

議決権行使レポート

証券コード 4078

会社名 堺化学工業

	賛成	反対	棄権
第1号議案 取締役8名選任の件			
矢部 正昭 氏	○		
矢倉 敏行 氏	○		
中原 慎治 氏	○		
岡本 康寛 氏	○		
服部 浩之 氏	○		
伊藤 善計 氏	○		
和田 浩美 氏	○		
松田 充功 氏	○		
第2号議案 会計監査人選任の件			
有限責任 あずさ監査法人	○		
第3号議案 取締役賞与支給の件	○		

上記の推奨をした理由

まず第1号議案の取締役8名の選任について評価していく。まず始めに、8名の候補者は皆、再任であるため堺化学工業の過去の売上高を見ていく。ここ10年間の売上高は、浮き沈みはあるものの比較的安定していると言えるだろう。候補者の中で最も在任年数が最も長いのは代表取締役会長の矢部正昭氏の11年であるから、この会長が就任して以降の堺化学工業の売上は比較的安定しているとみることができる。また直近では2022年から2023年にかけて売上高が大きく上がっており、候補者8名が皆再任であることを考えると、取締役を変える必要はないと思われる。

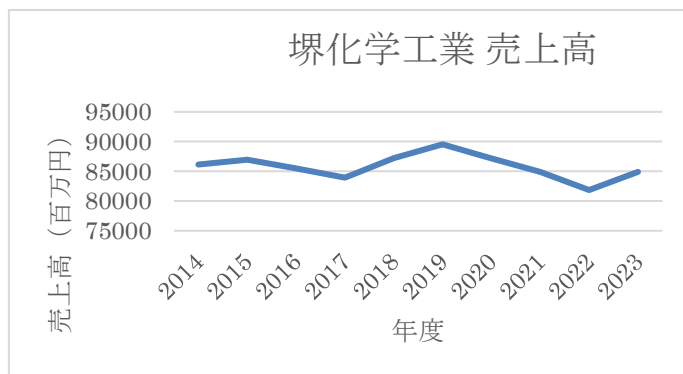


図1 堺化学工業 売上高

加えて、8名の候補者は全員取締役会に100%出席しており、取締役としての責務を果たしている。また8名の候補者はそれぞれ分野ごとにスキルを補完し合っており、取締役に適正な8名である。

次に第2号議題の会計監査人について評価する。これまで会計監査人を務めたひびき監査法人は今回の株主総会を持って任期を終了し、有限責任あずさ監査法人に交代するようだ。有限責任あずさ監査法人は日本の4大監査法人の一つであり、信用に足る監査法人であると考えられる。そのため、会計監査人の交代は問題ないと考えられる。

最後に第3号議案の取締役賞与支給について評価する。取締役賞与支給は取締役が堺化学工業の株式を継続して保有することにより、取締役に対し企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与え、株主との価値共有を進めることを目的としてすでに2018年の株主総会において1事業年度120百万円を上限として承認されている。明確な目的と上限が設定されており、取締役賞与支給は会社に必要なものであると考えられる。そのため、第3号議案には賛成である。